

看護学部学生の保護者の皆様へ

保護者の皆様には、いつも看護学部の教育にご理解、ご支援をいただき、ありがとうございます。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、私たちの暮らしが大きく影響を受ける年となりました。看護学部における教育活動も例外ではございませんでした。遅くなりましたが、保護者の皆様へ、これまでの新型コロナウイルス感染症に対する愛知医科大学看護学部の取り組みについて、ご報告申し上げます。

2020年度は後学期におきましても、感染症の拡大状況を見極めながら、オンラインと対面での授業を併用していくこととなります。引き続きのご理解、ご協力をお願いいたします。お困りのことがございましたら、いつでもご連絡いただければと存じます。保護者の皆様におかれましては、くれぐれも安全にお過ごしになられることをお祈りいたしております。

看護学部長 坂本 真理子

《学事イベントへの対応》

- ・ 卒業式（3月7日）：嚴重な感染対策を行った上で、参加者を卒業生と大学役職者に限定し、時間を短縮して実施しました。
- ・ 入学式（4月2日）：嚴重な感染対策を行った上で、参加者を新入生と大学役職者に限定し、時間を短縮して実施しました。
- ・ キャンドルセレモニー（7月2日）：嚴重な感染対策を行った上で、参加者を2学年次生に限定し、3室に分かれて、時間を短縮して実施しました。
- ・ オープンキャンパス：ウェブオープンキャンパスを公開中です。

《授業への対応》

- ・ 愛知医科大学ではZoomと教育支援サイト（AIDLE-K）を活用したオンライン授業を授業の空白なく、授業時間割に沿って実施しました。2～4学年次生については、学年次ガイダンスのみに参加し、オンラインによる授業の説明、教科書販売などを行い、5月31日まではすべてオンラインのみの講義・演習・実習となりました。6月からは、対面での教育効果が期待される限定された授業のみ大学への通学とし、その他はオンラインでの授業を継続しました。
- ・ 新入生研修は最小限の内容に絞り縮小して行いました。新入生研修終了後から1学年次生もオンラインの授業になりました。6月からは、限定された授業のみ対面で学修することとし、それ以外はオンラインでの授業が継続されました。
- ・ 学生の登校にあたっては、教室定員の半数の学生収容としました。教室や更衣室、学生ホール、トイレなどの学部内の施設の感染対策を十分に行い、朝・来校時・午後の体温測定など学生の体調管理を行い、手指消毒を徹底いたしました。また頻繁な手洗いをを行うように促しました。
- ・ 定期試験については、複数の教室、換気、マスク着用、学生の体調管理など、嚴重な感染対策を行った上で登校してもらいました。定期試験のために登校することへ不安を感じた学生や保護者の皆様には説明を行い、ご理解をいただいていることと存じております。
- ・ 臨地実習については、医療機関・高齢者施設等での実習は、学内での実習（オンライン併用）といたしました。受け入れが整った4学年次の公衆衛生看護実習（選択制）のみ、臨地の実習施設で実習を行いました。

《学生への支援》

- ・ 大学全体の活動指針を取り決め、ホームページに掲載しております。活動指針は医学部看護学部合同による大学コロナ感染症対策委員会において検討を行い、適宜更新しています。
- ・ 学生へは定期的にメール及びホームページにて「新型コロナウイルス感染症から身を守るために看護学部から学生への応援メッセージ」として学生へ必要なメッセージを送っています。大学ホームページに新型コロナウイルス感染症に関するバナーを設定し、学生や保護者の皆さんが必要な情報を得られるようにしています。このバナーの中には看護学部の取り組みに関する項目があり、看護学部が学生に提供した情報について閲覧することができます。
- ・ 学生や保護者の皆様からのお電話やメール等での個別のご相談については、看護学部の関係部署が対応させていただき、可能な限り迅速に返答させていただいています。
- ・ 各アドバイザーから担当学生へ定期的なメール連絡（あるいはオンラインによる連絡）を行い、各学生が抱く不安や困りごとに相談に乗っております。アドバイザーを通じて把握した学生生活や学修に関する課題は、看護学部・大学全体として検討し対応を行っています。
- ・ 学生は毎日教育支援サイト AIDLE-K の「体調管理確認シート」（体温、風邪症状、消化器症状、強い倦怠感など）に入力することになっており、入力状況は学生支援課で毎日確認し、未入力者には学生支援課から連絡しています。
- ・ 2 学年次生には本格的に実習を開始する前のマナー・メイク講座、3 学年次生にはコロナ禍における就職活動を支援する講座をオンラインで実施しました。
- ・ 4 学年次生には、国家試験に向けての学修環境として、8 月より医心館のセミナールームを開放しております。開放の際には、マスク着用・換気・人数制限・食事場所の限定などの感染症対策を十分に行った上で、使用可能としております。国家試験の対策講座もオンラインで実施しています。
- ・ 精神看護学を専門とする教員による「おしゃべり会」を定期開催し、コロナ禍のもとで不安を抱きやすい学生の精神的なサポートを行っています。

《経済的支援について》

- ・ コロナ禍で生活が急変した学生支援として、国の修学支援(新制度)や授業料減免、奨学金拡大などの情報提供を迅速に行うための相談窓口を設置して、応募者の取りまとめを行いました。具体的には以下のような奨学金等の情報提供を行いました。
 - 『特別定額給付金』・『学生アルバイトも含む雇用調整助成金の特別措置』（情報提供）
 - 『高等教育の修学支援新制度』『日本学生支援機構貸与型奨学金』の拡大(情報提供)
 - 『学びの継続のための学生支援緊急給付金』（情報提供と応募者の取りまとめ）
- ・ 家計が急変した学生に対する授業料の一部減免措置（後学期授業料）を行いました。
- ・ オンライン授業に係るパソコン・周辺機器の購入、インターネット環境の整備や消耗品などの経費として、在学生全員を対象に『遠隔授業環境整備支援金』5 万円の支給を行いました。
- ・ 看護学部独自の学生支援として、パソコン等を購入することが経済的に困難な学生を対象にノートパソコンの貸出を開始いたしました。